

【 小値賀町 】
1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

本町では、論理的な思考力・判断力・表現力を育成するとともに、インターネットを適切に活用し、必要な情報を収集したり発信したりする能力を育成することを目指します。

2. GIGA 第1期の総括

GIGA 第 1 期では 1 人 1 台端末の整備やネットワーク環境整備とともに、これらを活用した協働学習・授業支援のソフトウェアの導入を行いました。導入当初は、ICT 機器やクラウドツール等の習熟度に個人差があり、有効に活用できていないクラスも多少みられました。そのため、令和 2 年度から ICT 支援員を会計年度任用職員として雇用し町立学校に常駐する体制を整備し、気軽に教職員が相談できる環境づくりに努めました。

3. 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末の利活用の前提として、端末の整備・更新により、児童生徒向けの 1 人 1 台端末環境を引き続き維持します。

(1) 1人1台端末の積極的活用

学校の授業での端末活用が定着し、持ち帰りによる家庭学習も進んでいるため、児童生徒の端末の持ち帰り学習について、全学年での端末持ち帰りを目指します。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

各学年でそれぞれのステップに応じた情報活用能力を児童生徒に身につけさせるため、支援ツール等を活用した ICT 教育を検討します。

(3) 学びの保障

希望する不登校児童生徒に対して端末を活用した授業への参加ができるようにします。また、特別な支援を要する児童生徒に対しては、担当する教員と ICT 支援員、学校と教育委員会が連携し、その児童生徒に適した ICT 機器を活用した授業方法やツールを探していきます。